



平成 21 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社N F Kホールディングス
代表者名 代表取締役社長 城 寶 豊
(J A S D A Q ・ コード 6494)
問合せ先 役職・氏名 取締役 田中 耕
電話 045-575-8000

平成 21 年 3 月期 通期(連結・個別)業績予想との差異に関する

お知らせ

平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の通期業績予想について、平成21年2月12日付「平成21年3月期 通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期 通期連結業績予想 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(1) 差異の内容

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株あたり当 期 純 利 益
前回予想 (A)	3,920	220	232	154	5.19
今回修正 (B)	3,895	147	155	88	2.99
増減額 (B-A)	△25	△73	△77	△66	—
増 減 率	△0.64%	△33.18%	△33.19%	△42.86%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	7,162	△449	△997	△4,481	—

(2) 差異の理由

売上高は、昨今の経済環境の影響から、前回の予想をわずかながら下回る 3,895 百万円となる見込みです。営業利益、経常利益および当期純利益につきましては、当第 4 四半期において、当社子会社の株式会社光電機製作所の本社移転に伴う費用および、棚卸資産の見直しによる不良在庫の整理等により約 17 百万円の費用が発生したこと、また、当社子会社の日本ファーンレス株式会社で、成約に至らなかった案件に対する試作品の作成や外注費などの受注活動費用が想定を大きく上回る 68 百万円発生したこと(想定は 40 百万円)、また、平成 22 年 3 月期に予定していた当社主力製品であるリジェネバーナーの試験炉等の研究開発費用が前倒しで約 20 百万円発生したことなどから、営業利益 147 百万円、経常利益 155 百万円、当期純利益 88 百万円とそれぞれについて、前回の予想を下回る見込みであります。

2. 平成 21 年 3 月期 通期個別業績予想（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

(1) 差異の内容

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり当期純利益
前回予想 (A)	415	55	57	120	4.05
今回修正 (B)	419	63	44	92	3.12
増減額 (B - A)	4	8	△13	△28	—
増減率	0.96%	14.55%	△22.81%	△23.33%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	333	△7	△45	△5,072	—

(2) 差異の理由

売上高は、ほぼ前回予想通り 419 百万円となる見込みです。営業利益、経常利益、純利益につきましては、子会社からのロイヤリティ増や、販売管理費の節減などがあったものの、関係子会社貸付金への貸倒引当金実績率適用による費用の増加、営業外費用の発生、また、平成 21 年 4 月 20 日付「海外子会社の解散及び特別損失の発生に関するお知らせ」にてお知らせした、海外非連結子会社である N F K テクノロジー・シンガポールの関係会社株式評価損として約 15 百万円の特別損失などが発生した結果、営業利益 63 百万円、経常利益 44 百万円、当期純利益約 92 百万円となる見込みです。

以 上